

リラット開館3周年記念

# フォトモザイク 完成!



応募してくれた皆さん、ありがとうございました。リラット1階に展示しています。



## 親子で絵本の世界を楽しむ

3月12日、絵本作家の長谷川義史さんによる絵本ライブがアルカスホールで開催され、152人が参加しました。

スクリーンに映し出された絵本を長谷川さんがユーモアたっぷりに読みあげると、会場からは笑い声。ウクレレ弾き歌いやライブ紙芝居などもあり、大人も子どもも長谷川さんの絵本の世界を楽しみました。お母さんと弟と訪れた奥田彩恵さん(8歳)は「『たこやきのたこさぶろう』の歌がおもしろかった」と笑顔で話してくれました。



## かっこよく、かわいく描いてね

3月16日、つどいのひろば「そら」で似顔絵イベントが行われました。

似顔絵師のかっとさんが、手際よく田中侑柊(ゆうひ)さん(2歳)と柊葵(ひづき)さん(4か月)の兄妹を描いていきます。20分ほどで完成し、出来上がった絵を見て侑柊さんもうれしそうでした。お母さんの真有香さんは、「子どもたちがじっとしているか不安だったけれど、すごくかわいく仕上げてもらって、いい機会でした」と話してくれました。



## ドッグランで こんにちワン



1月11日(ワンワンワンの日)、打上川治水緑地にドッグランがオープンしました。

連日たくさんの方が楽しそうに走り回っています。利用した女性は、「近くにドッグランができてうれしいです。犬を通して、飼い主さんやたくさんの方のワンちゃんのお友だちができたので、これからも利用したいです」と話してくれました。



## いしぶみ 史跡 茨田蛇の池跡の碑 (木屋町)

茨田蛇の池跡の碑は、農業用水の守り神の額呂岐神社境内にある奥宮社殿の西側に立っています。寢屋川市史などによると、池はかつて神社の北側が枚方市境付近にあった赤井堤防、西側は淀川堤防あたりまで広がっていました。

大きな蛇の竜神さまがすんでいたという民話が伝わり、古くはかんがい用に使用されていました。しかし、次第に埋め立てられ、昭和51年に境内の整備で行われた石垣工事で姿を消し、茨田蛇の池の存在を後世に伝えるため額呂岐神社の氏子たちが石碑を建てました。同神社の責任役員は「中学生の頃はまだ神社の北に釣り堀や小さな池があり、氷が張る冬にはよく滑って遊んでいました」と振り返ります。

## 小さな冬鳥たちも北帰行

海渡り大陸へ



昨秋に飛来し寝屋川市内で冬を過ごした渡り鳥が海を越えて大陸へ旅立っています。

2月頃から始まる北帰行といえばハクチョウが有名ですが、淀川などで見られる全長15cmと小さなカシラダカ=写真上=も冬の渡り鳥です。オスは春が近づくと頭部が黒い夏羽に変わり、4月頃には北へ飛び立ちます。

市街地でも観察できるジョウビタキ=写真下=はスズメよりわずかに小さい全長14cm前後。オスはオレンジ色のお腹と銀白色の頭が美しく、日本海を越えて大陸に渡ります。

観察を続けている愛鳥家は「小さな体で海を越えて何千kmも旅をします。冬鳥がいなくなると、代わって南の方から夏鳥がやってきます」と話しています。

